

ピュアコスモ

2017 春号第 27 号

2017 年 4 月 1 日

発行：NPO 法人 ピュアコスモ

2009 年 7 月 28 日より名称が変わりました。

<http://purecosmo.com/>

「ピュアコスモ」は、兵庫県内の高機能広汎性発達障害児・者とその家族、関係者及び地域社会に対して、適切な療育、正しい知識の啓発、幸せな社会生活の場の提供に関する事業を行い、高機能広汎性発達障害児・者のよりよい成長、幸福な人生の創造に貢献するとともに、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。

【もくじ】

「 10/2 淡路島オレンジさんとの交流会 」	2~4
「 SST 高機能自閉症スペクトラムのある若者とその保護者のための連続講座 」	5
「 1/22 SST 一般公開講座 お金のこと 」	6
「 12/11 ピュアコスモ会員お楽しみ交流会 」	7
「 18 歳以上の子どもを持つ親のお食事会 」	8
「 2/19 就学前と小学生の保護者向け学習会 進級・進学のために 」	9
「 にちようカフェ 」	10
「 大島剛先生連続講座 発達検査から見える・活かせること・支援できること 」	11
「 2/26 保護者グループ相談会 」 「 15 歳以上本人交流会に参加してみよう 」	12
「 各地区交流会 」	13
「 こんな会議に行ってきました 」 「 平成 29 年度総会のお知らせ 」	14

27



☺淡路発達障害児親の会 オレンジさんとの交流会☺

～ランチをしながら、交流を深めましょう～

2016年 10月2日(日)

参加者：10名(ピュアコスモ会員)

ファシリテーター：渡辺和美先生

今年で5回目を迎えた淡路島の親の会との交流会は、昨年に引き続き渡辺先生にご同行頂きました。今年は、ご夫婦やご一家でのご参加があり、結構な大所帯となりました。昼食は、ワンプレートにきれいに盛り付けられた大人のお子様ランチ的なもので、海の幸、山の幸ありと淡路島らしいこだわりの食材を使ってとても美味しかったです。食後、場所を移し、中学生以下と高校生以上の2グループに分かれて再び交流を深めました。中学生以下のグループにオレンジ会員さんが多かったので、ピュアコスモの先輩母さん2名とファシリテーターとして渡辺先生に入って頂きました。先輩お母さんの体験談やアドバイスなど約2時間、途切れることなく会話が弾んでいました。また、高校生以上は進学、就職、自立に関して成功談や失敗談など話し出したらキリがなく、こちらも時間が足りなくなるほどでした。せっかくですので、参加していただいた会員さんの感想をご紹介しますね。

☺ ぼくは、ピュアコスモのイベントで2回、淡路島に行きました。

1回目は、夏にイルカと泳ぎに行きました。2回目は、オレンジの会との交流会に参加しました。今日は、このことの感想です。

行きに、初めて海のトンネルの中を通りました。

オレンジの人(こども)に会った時はあまり仲良くなかったけど、その子と淡路の先生ともうひとりのお姉さんとは、まみいたちが、部屋で話している間に浜辺の公園に行きました。

それで、落ちてたもの「ボール」などを洗って、かわかして、投げたりして遊びました、

まつぼっくり集めもしました。発泡スチロールの粉を飛ばして遊びました。

それから、1時間かしてお城に向いました。お城に行く道がすごくくねくねしている道でした。

駐車場に車を止めて出ると、坂道が待っていました。!! どちらが早くてっぺんに行けるか競争もしました。昔の人は、くねくね道と、めちゃくちゃ長い坂を歩いてきたのかなあ・・・

大きいくもがいました! てっぺんに着いたら、持って来たおかしをいっしょに食べました。

上から見る景色は、海も山も見えて、まみいたちがいる場所も見えました。

それから、船も見えました。お城は、外からは入れなくなっていました。本当は、中で見たかったです。また行きたいです。(Rくん)





here is the story

Wow, had a great time going to and being on Awaji to see the Oranges.

Normally I would not be able to enjoy the scenery when going to Awaji because I have to drive the car and watch the road at the same time.

By the way, I really believed that I was actually going to see real oranges trees growing over there. I didn't realize that it was the name of the branch group on Awaji Island.

I wondered why the group was named "Orange" and I used my imagination and I found an answer. When you look at an orange you just see only one orange. But if you open it up, you will find about eight "Wedges". And if you open the wedges you will find a lot of orange pulp pieces.

You may be wondering, so what does that have to do with the group. Well there are many parents that wonder and care about their children, but they may not be sure where to go to get support and help. Now, If you use your imagination this would be the "Pulp" of the orange. Just by itself the orange "Pulp" seem like nothing. But if you collect them together you finally get an orange "Wedge" together they are able to help and support each other. And as time past on, more "Wedges" were formed.

And finally, when I visited Awaji I was able to meet the group know as the "Orange". Oh, how it has grown to become a very sweet fruit indeed.

"Mahalo Nui Loa", "Thank You Very Much" for inviting us over to your meeting.

(S さん)

< P.3 の 日本語訳 > ※ 翻訳は運営委員のIが担当しました。

“We’ re going to see the Orange. と妻に言われ、やったー、淡路島にオレンジを見に行くんだ！と思いました。普段は私が車を運転するので、運転しながら景色を楽しむなんてできません。そう、私は、彼方に広がるオレンジの木々を見に行くのだと思っていました。まさか淡路島の親の会の名前だったなんて気が付きませんでした。

どうして『オレンジ』という名前にしたのだろう。私なりにあれこれ想像力をはたらかせて考えてみた答えはこうです。ーオレンジって・・・ただの、そう、オレンジですよ。でも、オレンジをむくと、中には8つぐらい薄皮につつまれた房(?)があって、さらにその薄皮の中にはつぶつぶの果肉がぎっしりはいていますよね。ーそれで、これが淡路島の『オレンジ』の会とどう関係があるかということ・・・。つまり、子育てに悩む親はたくさんいます。しかしみんなどこへ行ってサポートや支援を求めればいいのか、わからないでしょう・・・。そう、オレンジの話、果肉の粒を想像してください。たったひと粒ではいったい何なのかわからないでしょう。しかし、粒をたくさん集めれば、1つの房になり、お互い助け合うことができます。やがて、時が経ち、あらたな房がだんだんとでき、そして房のかたまりが形づくられました。こうして、私は淡路島を訪れ、『オレンジ』という会のみなさんと出会うことができました。それはなんと、本当に甘いオレンジに熟していました。

“Mahalo Nui Loa”, お招きいただき、“どうもありがとうございました。”



5年生の子ども、そして父親のハワイ出身の夫と初参加させていただきました。

バスで行くということ、特に観光ではなく、交流ということで、当日まで結構緊張していましたが、夫は行く気持ちが変わらず。子どもについては、8月頃から、反抗期モードであったので、どうなることかと思いましたが、一家で楽しく参加させていただき、とてもいい思い出となりました。

子どもがお世話になった、先生にも本当によくいただきました。淡路の男子君とうちの子どもの2人を、先生がドライブしてお城を見せてくださったり、海を見せてくださったり、本当に感謝でした。同じ兵庫県とはいっても、尼崎市で日常を送る我が家の面々は、淡路島の自然の豊かさに癒されて、帰りました。

お土産にのりや、お味噌をいただきました。夫がアメリカ人なので、お味噌も買ったことないまま、20年以上を過ごしておりましたが、あれから、お味噌を活用し、年始にとうとう使いきり、新しくお味噌を買いました。

交流するということは、脳へのすごい働きかけとなりました！

同時多発で療育になる旅であったと、確信いたしております。

もう少しゆっくり、みなさんとおしゃべりして、観光もしたかったです～。（ Fさん ）

∞∞ SST 高機能自閉症スペクトラムのある若者とその保護者のための連続講座 ∞∞

とき：2016年11月～2017年3月

場所：コムスタ神戸

参加者：当事者11人 保護者：18人

本連続講座では、高機能自閉症スペクトラムのある当事者に対して「ひとつ上の気づかいスキルトレーニング」を約1時間、「身だしなみに関する講座」を約30分間行いました。

また、保護者に対する連続講座では、講演会・勉強会を行いました。

当事者に対するひとつ上の「気づかい」スキルトレーニングは、実際の職場を模したシミュレーション環境の中で、上司や同僚に扮したスタッフが当事者に様々なミッションを提示し、そのミッションの中で相手に対する気づかいスキルを発揮できるよう促す内容で行いました。例えば、相手に話しかける時に「今、お時間よろしいですか？」というスキルや相手のもとを去る時に「失礼します」というスキルについて学習をしました。作業を行いつつ、相手の気づかひも行う…ということは、なかなか難しかったとは思いますが、回を重ねるごとに、それらの行動がスムーズに行うことができるようになっていきました。最終的には、参加者のほとんど全員が、学習の中で扱われたすべての気づかいスキルを使いこなすことができるようになりました。

身だしなみに関する講座では、それぞれの当事者にスタッフが1名つき、一緒に身だしなみやファッションについて考えました。初めに自分のファッションチェックを行い、そのファッションを改善していくにはどのような服を選べばいいのか、どのようなコーディネートがすばいのか、ファッション雑誌を見ながら考えていきました。自らのファッションスタイルを変えることに恥ずかしさを覚える人もいましたが、ファッション雑誌を必ずしも真似したりおしゃれを意識する必要はなく、自分らしく好きなファッションをすればいいということが徐々に参加者に浸透していき、最終的には、各々自分らしくファッションスタイルを改善することができるようになりました。中には、これまでは特定の種類の服しか着なかつたけれども、講座を受けた後、色んな種類の服を着るようになって周囲を驚かせたというエピソードを報告してくれる人もいました。

一方、保護者の連続講座は、毎回異なる講師による大人に向けた準備や就労についての話、お金のマネジメントや異性との付き合い方に関する内容でした。その他、複数のグループに分かれたディスカッションや先輩保護者の話を聞く等、盛り沢山の内容でした。

全5回の講座を終え、各々の参加者が色んなスキルを獲得することができました。初めは緊張していた人たちも、回を重ねるたびに参加者同士で打ち解けたり、スキルの獲得とともに自信を身につけていく様子が見受けられました。この講座で学習した内容を、ぜひ日常生活でも用いて頂き、さらに充実した毎日を送っていただければと願っています。

スタッフ一同、講座を企画・運営させて頂き、貴重な勉強の機会となったことに大変感

謝しています。ありがとうございました。

(運営委員 R.I)

SST 高機能自閉症スペクトラムのある若者とその保護者のための連続講座

一般公開講座

「お金のこと」



講師 : 鹿野佐代子氏

(社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団職員 ファイナンシャルプランナー)

日 時 : 2017年1月22日(日) 13:30~14:40

場 所 : コミスタこうべ(神戸市生涯学習支援センター)

参加人数 : 30名(一般公開の参加者のみで連続講座の参加者は含まない)

ピュアコスモが鹿野先生にお世話になるのは今回で4回目になります。お金、性のことや親なき後などについてのお話は、毎回『キャンセル待ち』が出るくらい大人気の先生です。“SST参加者だけがお話を聴くのはもったいない!”という思いから、この回のみ一般公開講座という形にしました。

『自立した生活を送るために必要な金銭管理について～上手にお金を使えるために～』というタイトルのお話でした。【お金の役割】に始まり、【金銭教育】など、先生がいままでやってこられたやり方やツールを惜しげもなく、ばんばん見せてくださいました。小中学生の事案も含まれてはいましたが、これだけあれやこれや見せていただければ、年齢に関係なく、どの家庭でも、どれかは利用できそうなものが見つかったのではないのでしょうか?我が家では21歳の息子に、ウォールポケットの活用法を使わせていただいております。

講座終了後、一般参加の皆さんには、鹿野先生との質疑応答の時間を別室にて30分ぐらい設けさせていただきました。講座の内容以外にもグループホーム、成年後見人制度、生活保護など、保護者のみなさんが心配されること、お子さんの安定した将来の生活を望まれていることなどだいたい共通しているようで、積極的に相談されていました。(運営委員 N.I)

～*～ 鹿野先生プロフィール ～*～

大阪府障害者福祉事業団職員として、福祉現場の一線で30年勤めるなか、知的障害のある人の結婚支援をきっかけに、「性」と「お金」の支援の大切さに気づき、性教育を学びファイナンシャルプランナーの資格を取得する。それらの知識を支援に活かすために研究助成金を申請し、結婚支援や金銭トラブル、親なき後の対策について事例研究を行なう。現在は、親の会などを中心にファイナンシャルプランナーの知識を活かした支援を展開している。地域生活支援ハンドブックを共著で自費出版。論文は第4回日本FP学会賞 日本FP協会奨賞と第1回日本FP協会小論文コンクール 最優

秀論文章を受賞。・大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所 客員研究員・NPO法人
ら・し・さ 会員

✿ ピュアコスモ会員お楽しみ交流会 ✿

日にち：12月11日

場所：神戸市青少年会館 6階 サークル室1・2 参加人数：22人

「ピュアコスモまつり」から「ピュアコスモ会員お楽しみ交流会」に名称変更した1回目、大きな部屋が取れず、隣り合わせの2部屋を使っての開催は、どうなることかと案じていましたが、結構にぎわいました。内田さんの体操で疲れた体をときほぐし、心身ともにリラックスできました。恒例のビンゴ大会では、大人も子どもも関係なく景品獲得に夢中になりました。

Kさんのクッキー、Hさん家のおばあさまお手製の和菓子、Uさんのビーズアクセサリー、Mさんのガーゼマスク、Yさんの織物、Uさんの多肉植物寄せ植えなどが会場に華を添え、会員さんの交流に一役買っていました。また、参加していた当事者同士の会話も弾み、楽しいひと時を過ごしました。

✿おしゃべりと買い物とビンゴが楽しかった。みんなが優しく、おしゃべりが楽しくて、楽しくて♪ビンゴの景品は、自分なりに考えてすごく悩んでけれど、むっちゃ良いものをもらえた！のりの佃煮（笑） 来年も参加したいな♡ （Rちゃん）

✿毎年、ピュアコスモの交流会をととても楽しみにうかがっています。

今回は、私と夫、息子とそのお友達の4人で参加しました。買い物をいつも楽しみにしている、息子はクッキーやさおり織を買いました。お友達も買い物をして、さおり織の素敵なものを買って帰りました。ビンゴゲームもとても楽しかったです。体操は少し遅れての参加だったのですが、楽しくて、頑張りました。

私は、座談会のほうへ移動して、自分の聞いて欲しかったことを話せて、みなさんに共感していただけて、少し気持ちが楽になりました。

その後は、ルミナリエを息子はぼつぼつ痛む背中を労わりつつ、去年と同じように見て回りました。

息子がたちの悪いいじめを受けている最中、石を当てられ、池に落とされてからすごくふさいでいた毎日でしたが、少し浮き上がるきっかけとなった交流会で、感謝でした。

（Fさん）

✿ピュアコスモには去年からお世話になり、これまでにない体験をさせていただきました。交流会では織物を販売する体験や、子ども本人は自分の悩み事を話すこともできました。

良い機会をいただきありがとうございました。

(Yさん)

18歳以上の子を持つ親のお食事会

日時： 11/23・ 2/11

場所： レストラン燦

初めての地区交流会に続いて、18歳以上の保護者の食事会に参加させていただきました。これまで長い間、同じ立場の保護者の方との接点は全くありませんでしたので、特性や経歴は違っても、同じ悩みや葛藤を抱えて頑張っている方々とお話しできたのは、私にとって、とても有意義な楽しい時間となりました。

いろいろなことがありながらも笑顔で明るい方たちとまたお会いできる日を楽しみに毎日を頑張っていこうと思います。

(Aさん)

今回、初めて参加させて頂きました。『ピユアコスモ』を知ったのも少し前で、本当にドキドキでしたが、皆様が温かく迎えて下さり、どんな些細なことにも親身に答えて下さり、とても有り難かったです。私達親子は本当に遠回りをしてしまいました。今、「そういうことだったのか」と解かってみると、なんと真逆の対応で本人を苦しめてしまっていたとか・・・親のうかつさが無念です。今はここに繋がれたこと、これ以上を無駄にしなかったことだけを思い、本人も家族もこれ以上傷付け合うことなく前を向こうと思います。

(・・・10年前に知っていればなあ・・・ばかり思ってしまうので☆苦笑) (Bさん)

為になる情報、子どもたちの学校生活、障害者年金、職歴など困った話で盛り上がりました。日々身の周りの事で困っている事が共感出来ました。

(Hさん)

すごく色々な為になるお話が出来て楽しく過ごせました。喋ることでストレスの解消ができて良かったです。

(Uさん)

私の問題は解決していないけど、現状を聞いてもらって、理解して頂き嬉しかった。他にこういう場がないのでランチ会が有って嬉しいです。

(Kさん)

他の地区交流会はどんな運営をしているか、ランチ会で聞くことが出来て参考になりました。

(Nさん)

余分な話・・・メニューが季節ごとに変わり、内容も次々と変わって値段が毎回違います。値段表を作って行きますが、その場で修正しながら使っています。集金の際は便利が良いのでこれからも活用します。牛フィレ肉ステーキは、1800円に値下げされたので皆さんの人気メニューになりました。バイキングと合わせればお得感が有ります！

(Kさん)

ピュアコスモ会員限定 就学前と小学生の保護者向け学習会

H29 2/19 「進級・進学のために」 嶋崎先生学習会

場所：兵庫教育大学 発達心理臨床研究センター神戸ハーバーランドキャンパス

参加者：4名 託児：2名

Aさん（小5男子のお母さん）

昨年度からだんだんと、小学校内でのいじめ対策に悩んでいたもので、自分の悩みを聞いていただけて、とてもほっとしました。違う年齢のお子さんがいらっしゃる親御さんたちと交流することができ、色々なアイデアをシェアでき、また励まされて帰りました。有難うございました。

Bさん（小1女子と小3男子のお母さん）

少し遠方なため、子ども達を連れての外出を迷いましたが、託児があり、また同じ年頃のお子様の親御さんの集まりなので、嶋崎先生の学習会に初めて参加させて頂きました。我が家より年上のお子様のいるお母様達からは、中学や高校進学という少し先の将来のお話を聞き、準備や心構えができました。幼稚園のお子様のいるお父様の心配や不安を聞き、アドバイスでは無いけれど、小さかった頃の話の思い出話していく中で、私もあの頃はたくさん悩んだけど、子ども達は今ちゃんと学校生活を楽しんで過ごせているんだなあと改めて子どもが成長していることを実感でき嬉しくなりました。現在もまだ本人告知や新年度の不安もありますが、この療育が良かったよ！とか、この著者の本が参考になるよ！といった情報をたくさん教えて頂けて、これからも前向きに頑張ろうと思えました。話すことを、否定されず、そういう時もあると聞いてもらえるだけで、なんだかホッとしました。2時間ありがとうございました。

Cさん（年少女子のお母さん：参加はお父さんでした）

今回、夫に参加してもらいました。少人数で驚いたようですが、皆さんの生の話が聞けて、とても勉強になったようです。夫婦でいろいろ話し合ういい機会にしたいです。

Dさん（小6男子のお母さん）

相談会は、様々な年齢の子どもの保護者が参加されており、お父さんの参加もあり、楽しかったです。中でも、皆さんの経験を聞き、自分なりに一生懸命やって来たと思っていたのですが、いろいろな角度からの知識も教えていただき、大変勉強にな

りました。次回は、成人した当事者やその親御さんのお話を聞きたいです。

にちようカフェ

第3回 日時：9月25日(日) 15:00~16:30

参加者：13名(うち運営委員10名)

第4回 日時：10月23日(日) 15:00~16:30

参加者：8名(うち運営委員6名)



第3回は、3名来られました。うち、2名の方のお話をご紹介します。

- ① 小学生の娘さんの担任の先生とうまくいっていない様子でした。小学生の息子さんも心配ではあるけれど、娘さんのほうの対応で精いっぱいなので、息子さんの方は、対応しきれないと感じておられる様子でした。とはいえ、すでに熱心に療育をしておられるようです。今回は、「不安」を抱えたまま月曜日を迎えるのが嫌なので、話を聴いて欲しいと思って来られました。おしゃべりの中では、息子さんの絵本を読んだ感想などが独特なところなど、とても共感できてたくさん笑いました。少しでも気持ちが軽くなってお帰りになられたでしょうか・・・。
- ② 来年、中学生になる息子さんの進路を悩んでおられました。公立に進むなら、入学前に特性や対応について、中学校の先生と話をしておいた方が配慮をもらいやすいことや、私立は気配りも行き届いていて、配慮や対応も公立より手厚い事などお話ししました。最後には、『息子に合った学校を今から探してみます』と表情を和らげて帰っていかれました。

第4回は2名来ていただきました。

- ① 明石市在住の方で、同じ明石市在住の運営委員が対応しました。明石市の情報交換の場となりました。病院を探しておられるようで、いくつか病院をご紹介しました。
- ② 西宮市在住の方で、やはり、西宮市在住の運営委員が対応しました。明石市のお話を耳にしながら、西宮市には明石市のようにいい先生がおられる病院がないという話や、お互いの息子のあるある話(動物の形のチョコレートなどは『可哀想』と絶対に食べないとか菓子箱や破れた服も『捨てないでって泣いてる。可哀想』と捨てられないなど…)で盛り上がりました。
(以上 運営委員 I & O)

「にちようカフェ」は、事前の申し込みが不要です。また、定刻に来る必要がありません。いつ来て、いつ帰ってもOKです。ピュアコスモらしく、やんわりとお互いをいたわりあう場になればなあという思いで続けています。

学習会などと重ならない月の第4日曜日午後開催予定です。開催月とお部屋は、毎月の配信

にて会員のみなさまにお知らせしています。

📖大島剛先生連続講座📖

「発達検査から見える・活かせること・支援できること」

日程 : 2017年 1月24日、 2月21日、 3月21日

場所 : 神戸市青少年会館

参加者 : 10名 (保護者、医療関係、教育関係、事業所支援者 等)

日頃からピュアコスモの活動にご協力を頂いている大島剛教授をお招きして3回の連続講座を開催しました。子どもの状態を理解するための手立てのひとつとしての「新版K式発達検査」について、“WISCなどの知能検査にも触れながら理解を深めその結果をどう受け取り、どう活かすのか”“保護者とどのように共有していくのか”について教えて頂きました。

K式発達検査についてはまだよく知らない、という参加者も多くおられましたので、初歩的なところからお話しいただきました。大変、好評でした。アンケートにも『大変よく解った』『今後、様々な場面で活かしていきたい』との意見が多くありました。

<以下は、参加者の受講後の感想です。>

- 📖とても分かりやすく説明して頂きました。『検査』といっても何を大事にしていくのか、方法や論理など今日、理解できました。
- 📖保護者が検査結果を持ってきた際の伝え方、対応法が分かった。
- 📖K式の歴史などとても興味深かったです。
- 📖K式発達検査の内容を知る中で、子どもの発達(定型発達)の基本を頭に入れておく必要があると思った。子どもたちが遊びながら検査をし、発達支援へと繋がっていけることが良いと思う。
- 📖検査を元に見えてくる一人一人の得意、不得意が明確に分かり、支援の立て方や困り所の発見がしやすくなったように感じた。
- 📖検査場面の映像を観ながらの解説が、とても分かりやすかった。結果の数値だけでなく、その背景をよみとることが必要だと感じた。
- 📖子どもたちの発達の目安を知ることができ、大変勉強になった。
- 📖新版K式について理解を深めることができた。結果のみ持参される保護者との

関わり方のポイントが分かった。

保護者のためのグループ相談会

日時：2月26日（日）13：30～16：00

場所：青少年会館 6階 サークル室5

ファシリテーター：渡辺 和美先生（メンタルサポート研究会・カウンセラー）

久保田 康愛先生（加西市立加西病院 精神科医）

参加者：7世帯 8名

***当日は、当事者・児が18歳より上・下で2グループに分かれ、それぞれファシリテーターを囲んでの相談会となりました。**

<参加者感想>

26才の息子がいます。予後（年齢がいったから）の話が聞けました。参加は三家族のみだったので、個々のケースについて、久保田先生の意見が聞けたのは非常に良かったと思います。ピュアコスモに入ってて良かったです。学齢期はとうに終わり、将来のことや薬との付き合い方とかで悩んでいる方は多いと思います。是非この相談会を利用されたらと思いました。（ Tさん ）

初めて会に参加させて頂きました。先生のお話やアドバイス、大変参考になりました。子どもが何歳になろうと、お母さんは子どもの味方であるという事を忘れず接していきたいと思いました。（ Mさん ）

15歳以上 本人交流会 奇数月 第4日曜日 13：30～

<参加してみて・・・>

他の人が悩んでいることが自分に当てはまることもあり、考え方や行動の参考になる。

また、共通の趣味の話題で楽しく話したり、帰りにショップに一緒に行ったりすることもある。

前に一度、アニメのDVD上映会をしたり、カラオケに行ったりもした。

専門家ボランティアの先生たちが、話を聞いてくれたりアドバイスしてくれたりして緊張することなくリラックスして参加できる会である。

（ 参加者 M.U 談 ）

☆彡 地区交流会 ☆彡☆彡☆彡

【神戸地区交流会】

☆彡 11月19日(土) 参加者5名、今回は20才以上の男子をもつ方々が集まりました。20才を過ぎていても思春期の悩みがあること、日常生活での困りごとなどが話題となりました。皆さんのお話を聞きながら、悩んでいるのは私だけではないと思うと、少し気持ちが軽くなりました。気になること、不安なことなどを話し合っ、一緒に考えてゆきましょう。和やかで話しやすい雰囲気の交流会です。どうぞ、気楽にご参加下さい。(Hさん)

☆彡 3月4日(土) 参加者8名

みなさん各々の苦労や現在の状態、いろいろな話が聞けて初めて知ったことがたくさんありました。様々な業や、医師、先生方の情報もたくさん聞けてあっという間に2時間半が過ぎとても時間が足りないほどでした。また次の機会も話を聞きたいことがたくさんあります。(Aさん)

【阪神地区交流会】

☆彡 3月9日(木) 参加者11名 (子どもの年令8才~24才)。今回は参加者11名と多かった為、2グループに分かれました。年令の低いグループは学校ではまだまだ障がいに対する理解や対処が分かってもらえていない事、年令の高いグループでは就労移行支援、就労継続支援についてや、就労での苦労についてのお話が出ました。帰りには有志でランチバイキング!美味しく楽しく有意義な時間を過ごせました。日頃のうっふん(笑)も一緒に出し合っ、帰りには少し肩の荷が軽くなったような気分になりますよ。みなさまのご参加お待ちしております。(Mさん)

【播磨地区交流会】

☆彡 1月29日(日) 9:30~11:30 明石生涯学習センターにて 参加者7名
インフルエンザが猛威を振るう中、当日欠席の方もあり残念でしたが、参加メンバーの近況報告で盛り上がりました。今回は成人し就労して頑張っている子どもたちの話中心になりました。事業所、相談支援事業所、医療機関、本人、家族の連携などなどを情報交換し…ついでに自分たちの親の介護話…更には自分たちがいなくなった後の子どもたちの在り方まで。社会資源を活用できる術を子どもたちに伝えることができれば、何とかなるのではないかと…と最後は楽観的にo(^-^o

学齢期のお悩みにも、豊富な経験と情報を話してくださる先輩方が沢山おられますので、まだの方は一度参加してみてください。(Hさん)

こんな会議に行って来ました。

H28. 11 神戸市青少年会館「平成 29 年度会館利用説明会」(山下)

H28. 12/21 神戸市役所「神戸市障害者施策推進協議会「第 2 次制度分科会」」(羽賀)

H29. 3/13 「平成 28 年度第 3 回ひょうご発達障害者支援センター 運営協議会・連絡会」
(井上)

H29. 3/14 総合福祉センター 神戸市総合福祉センターのリニューアルオープン式典
(羽賀)

(注①) 総合福祉センター

保健福祉局障害福祉部発達障害者支援センターから下記ご連絡を頂きました。

「リニューアルオープンされる神戸市立総合福祉センター(湊川神社西隣)の3階部分に心身障害者福祉センター、こころの健康センターと発達障害者支援センターが移転(3月21日)することになりました。」



平成 29 年度総会のお知らせ

日時 平成 29 年 5 月 5 日 (金)

13:30~15:30 くらい

場所 神戸市青少年会館 5 階 レクリエーションホール

総会終了後、保護者交流会か S V の先生方のお話しを
予定しています。

みなさま、是非!ご参加くださいね!

